

# 安全作業手順書【マルチングシート設置工】

作成日・改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具・車両	スコップ、ハサミ、ハンマー、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、保護メガネ、切創作業用手袋、皮手袋、墜落制止用器具

可能性(A)	見積り基準をした危険性の評価			
	重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	△× (中程度)	××
△たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)	××
×かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	××	××

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性が見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (修正基準あり)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント		リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)			リスクの再見積り		
			(～なので～になる)	(A)	(B)	リスク	(私達はどのように)	(A)	(B)	リスク			

準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行う	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1	
		作業員の役割(運転手、助手)を決める	免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って	免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示用車両両方カカを確認する	○	△	2	
		作業場所及び車線を確認する	上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように	/	/	/	/	/	/	/	/	
		交通規制状況を確認する	必ず当日の規制簿を使用して	/	/	/	/	/	/	/	/	
		ケーブル近接協議の内容を確認する	試験を伴う場合は協議日を確認して	協議承認日以前に作業を行ってしまう	△	×	4	作業日と協議日を照合し、確認を行う	○	○	1	
		使用機械、工具等の点検を行う	作業前に	作業中に機械が故障し、思わぬケガをする	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う	○	○	1	
		しらすんだーの動作確認及び点検を行う	朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1	
		小型移動式クレーンの点検を行う	手順書に則り	小型移動式クレーン作業手順書に則る								



車両確認
作業車両準備
作業車両点検
出発準備
出発
規制内進入
車両移動
停止
逸走防止

本作業	25.車両回送手順書に則る
-----	---------------

使用機器等	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2	
試験及び立会	埋設物の確認を試験にて行い、立会を受ける	試験がある場合は試験作業手順書に則って	試験作業手順書に則る								
現場状態確認	綱線を張り、墜落制止用器具を装着する	作業現場2m以上の箇所では必ず	/	/	/	/	/	/	/	/	
設置前準備	危険物、ゴミの処理を行う	保護具を着用し、ゴミバサミを使用して	場内のゴミを素手で扱い、被災する 路面での作業時、足を滑らせ転落する	△	△	3	手袋を必ず装着し、極力道具を用いて場内清掃を行う	○	○	1	
	草刈が必要な場合は、事前に草刈を行う 材料・道具の搬入を行う	草刈手順書に則って 周囲の状況に注意して	重畳物を運搬し身体を損傷する	△	×	4	重いものは二人以上で運搬する	○	○	1	
シート設置	施工箇所の構造物、付属物に合わせシートを加工する	①発生材の飛散に注意して ②必ず切創用手袋を着用して ③カブ4の埋設標が表面に出るように 埋め戻しの状態を確認しながら	養生不足により、発生材が飛散し接触事故となる 素手で加工作業を行い、身体を損傷する	△	△	3	発生材はその都度まとめて袋に入れるなど、養生を行う	○	○	1	
	シート表面に埋設ケーブルの位置をマーキングする	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
杭打ち	ハンマー等で杭を等間隔で打込む	①手元に十分注意して ②カブ4埋設箇所から50cm以上の離隔をとり 割付、ラップ長さ、ケーブルからの離隔を確認して 手元に十分注意して	打込みの勢いあまり、手元を損傷する ケーブル埋設箇所付近で打込みを行い、ケーブルを損傷させる	△	△	3	半ばまで杭を打った後は、手を離し打込む マーキングを確実にを行い、離隔を常に確認しながら打込みを行う	○	○	1	
	飛散防止のために仮押さえを行う ハンマーでシート杭による本押さえを行う	①手元に十分注意して	打込みの勢いあまり、手元を損傷する	△	△	3	半ばまで杭を打った後は、手を離し打込む	○	○	1	
細部処理	端部、シートの重なる部分を接着剤で貼り付ける	隙間が生じないように	接着の隙間に水や風が浸入し シートの浮きや飛散が発生する	△	△	3	場内確認時に、再度貼付を確認する	○	○	1	
本作業	仕上げ	作業を切り上げる	作業を中断するときは、飛散防止、仮押さえを確認してから	接着剤が肌に付着しかぶれを起こす	△	△	3	場合によっては保護クリームを手や顔に塗っておく	○	○	1
	発生材や道具を片付ける	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して	/	/	/	/	/	/	/	/	
	清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	掃き掃除やブロワー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	1	
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/	

1人作業 原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地でKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。

特記	パワーゲートを使用した場合	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライダバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に置き置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1